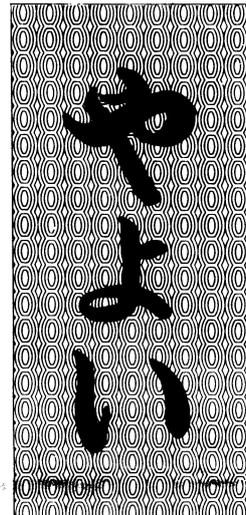




懇親会模様 (4年4月29日母校体育館)



発行責任者  
都立向丘高校同窓会  
会長 小川力洋  
編集 広報委員会  
事務局  
東京都文京区向丘1-11-18  
向丘高校内  
TEL 3811-2022  
FAX 3812-4055

島 勉前・元教職員の先生方、福田中修、中荻久男、橋本 力、福

希望に満ちた新春を迎えられ、誠におめでとうございます。我が同窓会は活性化に向けて、地道にひたすら継続性を重んじ、歩みつづけております。先ず「やよい2号誌」を四月一日二十八日付で発行し、新旧住所が不完全乍ら、一度は全会員のお手許に届けたく、一、三、八、九部の発送を試みました。多少無謀ではありましたが、この反応により次回へのステップと考えて実行しました。なんと転居先不明等が二、五〇〇通近くありました。これは誠に残念ではありますが、今後共会員各位に年一度の便り送付を浸透して頂きまして、友人で未着の方がありませんと、お便り等でご一報願いたいと存じます。一步一步できることから邁進して行きたいと存じます。又皆様からのご寄稿もお待ちしております。

次は第二回ホームカミングを二月二十二日(土)午後六時から四階会議室にて開催致しました。池永武昭校長先生(名誉顧問)をはじめ、顧問の石章二郎、平塚寛次郎両元校長先生、客員として和田巴喜、田中修、中荻久男、橋本 力、福



会長  
小川 力洋

活動の継続で

輪の波及を期待

与・千葉 豊先生がご出席下さいました。会員では第三期卒業生、岡村(太田)嘉代子様から四十三期(平成三年)卒業生まで四十名ものご参加を頂きました。

懐かしい諸先生方からお話を伺い乍ら、感慨無量であつたり、会員自身の往事を偲んだスピーチ等全員が話し合い、二、三昔前の出来事や顔が目の前に見えてくる様になり身も心もゆるみがちでした。後にお食事会となり更に和やかな雰囲気でも盛り上りました。

第三には定期総会、懇親会があります。毎年四月二十九日(祝日)みどりの日と決め継続されております。母校体育館を舞台として九頁の次第のとおり進行致しました。

池永校長、篠田教頭先生、千葉鳥居、西洲各現役の先生方に大変ご支援を頂いてスムーズな運営ができますことに御礼と感謝申し上げます。次第です。

歴代の校長先生(顧問)では石章二郎、原 隆男、平塚寛次郎、新城 昇の諸先生が、又田中、橋本、水町、水山、福島各旧先生方のご列席があり、会に花を咲かせて頂きました。

お食事会、アトラクション、ゲーム大会、抽選会など楽しさ満載です。同期会、クラス会の一次会にご活用され、年々口コミで拡大へと、母校愛を掻きたてましょう。尚、平成九年に、母校は創立五十周年を迎えます。

「同窓会の皆様へ」



校長 池永武 昭

同窓会(やよい会)会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本校教育の推進について深い理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

一昨年四月に本校に赴任して早くも一年半が過ぎ、歳月の流れの早さに改めて驚いています。

同窓会におかれましては、小川力洋会長を中心に、充実した活動をされていますが、会誌「やよい」第二号を全会員に送付する等に、他に類をみない発想に感服しています。

さて、学校現場では、学校週五日制、平成六年度からの家庭科男女必修を含む新教育課程の編成加えて学校不応、中退問題、大入試等の課題が山積してあります。

平成五年度入試の募集人員が発表されました。一学年七学級、一学級四十二名(前年度より一名減)と決定しました。入試もグループ制選抜最後の年になります。

来年度からは学校毎の単独選抜です。本校の真価が問われます。長年の懸案でありました校舎の改築(一号館・二号館)が決定し現在設計案が提示され、全・定の教職員が一致団結し、総力をあげ

て検討中であります。

これからも、「生徒を大切にしたい教育」を前面に出して指導に当たります。今までに倍して、ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、同窓会の益々のご発展を祈念いたします。

「これからの教育に思う」



教頭 篠田 信雄

本校は、コンピュータに関する先進校として、つとに有名である。先日も京都や鹿児島先生方が見学にこられた。昭和55年(1980年)都の「特色ある学校づくり」推進校としてCAI(コンピュータ)の支援による授業)の実践が開始されて以来、今年で12年、松下視聴覚教育研究財団の理事長賞を受賞するに至った。

科学技術の急速な進歩が、高度情報社会を出現させ従来からの学校教育の在り方が問われる時代となった。「教育の生涯化」が必然的に要求される時代である。このような社会にあつては、情報活用能力に、情報発信能力を身につけ、自ら主体的に生きる生徒を育成することが急務であろう。本校の先生方は、その点で大いに貢献しているであろう。

一方、地球環境は、近年ますます悪化の一途をたどっている。大気汚染、地球の温暖化、熱帯雨林

母校だより

の消滅、フロンガスによるオゾン層の破壊など人間の活動が地球環境に多大な影響を及ぼし、人類の生存を脅かす事態となっている。このような状態を認識し、如何にすれば悪化をくい止めることが出来るか環境教育の重要性は今後ますます増していくと考えられる。本校でも力を入れていきたい分野である。[Today birds, tomorrow men]

(一)職員の異動

平成4年3月末日をもって左記の先生方が異動されました。

①転出

河上一雄教頭↑北高校校長

川口政利教諭(数学) ↓鷺宮高校

桑木 健教諭(数学) ↓清瀬高校

鈴木久雄教諭(数学) ↓農産高校

松重達夫教諭(物理) ↓王子工業高校

福井敬子教諭(養護) ↓練馬高校

吉田由利恵主事(司書) ↓赤羽商業高校

②転入 篠田信雄教頭↑千歳高校教諭(生物)

川原博義教諭(数学) ↑北高校

佐藤 博教諭(数学) ↑豊島高校

水原 均教諭(数学) ↑篠崎高校  
清水良男教諭(物理) ↑城北高校  
丹羽栄子教諭(養護) ↑大山高校  
阿形光子主事(司書) ↑鳥山工業高校  
(二)進路状況―平成3年度 (浪人を含む合格者総数)  
国立大学 0  
国立短期大学 2  
私立短期大学 93  
専修各種学校 37  
民間企業就職 120  
公務員 35  
進学 計132名、就職 計52名

(三)学校行事

5月 遠足

6月 合唱祭(4学区で実施しているのは本校のみ)

9月 向陵祭・体育祭(今年は夢の島競技場で行なった)

11月 修学旅行(広島・岡山・神戸方面 11/9〜11/12)

クロスカウンター 担当 西沢 知教諭



新校舎平成9年完成予想図



# ホームカミングに参加して

(S26年卒)岡村(太田)嘉代子

私の高校時代は、第二次世界大戦、そして敗戦に依る、あらゆる歪みのごった煮みたいなもの生活でしたから、心から楽しんだ思い出は殆んどありませんでした。反面、国の荒廃と、価値観の大転換を迫られた時、おとな達がいかに、動揺するかを、多感な少女期に傍観して、少女にしては随分多くの感慨を身にしみて感じたものです。ですから余談になりますが、今のロシアがどの程度混乱しているか、数年前の東欧の旅の記憶と重ねて、想像に難しくありません。

一方、日本の教育制度もそんな転換期にあるのでしょうか。毎日の様に、高校生の非行や中退者の増加等のニュースをマスコミが伝えております。過日ホームカミングの言葉に引かれて四十二年振りに母校を訪ねました折、冒頭の池永校長先生の御挨拶にも、向丘高校生の現況についての多くのデータを示されましたが、仲々厳しいものでありました。

今、科学技術の目ざましい発達により、世界が目まぐるしく動いており、日本をここまで築いて来た、富国強兵型の画一的な授業も、経済大國日本になるまでは役に立って来ましたが、世界の情勢からこれにも

終止符を打つ時が来ました。これからは公立の高校も、流動的な将来に、いつでも遅く対処出来る様な思考力を養う小グループ制の話合いの授業や、コース制の授業を導入して、なるべく個性にあった授業形態が出来たら勉強も楽しくなるのではないかと、等と考える年帰った次第です。

先日御出席の卒業生の意見は、こんな時だけに、同窓会の交歓会の様な御挨拶に終始したのは残念に思いました。私とても、卒業後初めて母校を訪ねて懐旧の念ひとしをでした。それはそれ、小川会長さんの肝入りでホームカミング、と云う機会をもうけていただいたのですから、その時は矢張りテーマに沿った御自分の意見を持って、母校発展の為に出席されたらよかったと思うもので



(S36年卒)渡辺(熊田)廣子

年令的にも、学生時代をなつかしむ時なのでしょう。

千葉県の我孫子へ、卒業と同時に移ったものですから、向丘高校とも、音信不通になっていた時、新聞で、ホームカミングの事を知り、早速、島崎(渡辺)、藤本(小杉)さんへ電話をしてみましたら、藤本さんは、子育て中で都合がつかず、島崎さんと参加しました。

昔は、校門から校舎まで、前庭があったのに、今は、通りに面して、五階建の校舎が、でんと、構え、当時の面影は、全くありませんでした。集ったのは、総勢三十六名ほど、一番古い方で、二十六年卒業で、三十六年卒は、二人だけで、知っている方に会えるのを楽しみに、又、輪が広がるのを期待してましたのに、ちよつと残念でした。

当時、お習いした先生が、いらっしやっただけには、大変うれしく、国語の和田先生、数学の田中先生、体

育の橋本先生と、石校長先生までも、おなつかしいお顔に、少しも、お変わりないお姿を拝見して、三十一年振りにお会いしたのに、先日お目にかかったような、錯覚すら覚えました。

和田先生は、八十七才になられたとお聞きして、若々しいお姿に、みんなでビックリいたしました。

担任だった、深井先生には、お会い出来なかつたのは、残念でしたが、お元氣なんでしょうか。

現校長先生の、向丘高校の最近の報告が始まりました。現代の高校生(向丘)の現状を、大変憂えておられました。自分の息子、高校二年生を見ていても、私達の学んだ時とは大分違っていますから、豊かすぎる社会が、そうさせているのでしょうか。困ったものです。

橋本先生は、昔は、小石川や、竹早を落ちた人達が来た学校だったの、私達が学んだ時は、まじめな生徒が多かつたと、おっしゃっておられました。現在を憂えて、「同窓生、皆様のお力を貸して下さい。」と、おっしゃってました。参加者一人一人感想を述べて時間が来てしまいい散会しましたが、時間的にも短く、先生を囲んでお話し出来なかつたのは、残念でした。もつと長い時間が欲しいものです。小川会長、出席なさった先生方、幹事の皆様に感謝の意を表し、やよい会の益々の御発展を、お祈り申し上げます。

又、現校舎建替計画も決まったとのこと...その日が来ることを楽しみに!

### 「日本人のこころ」

(S58年卒) 旗野 敏弘

現在、私は東京の神社に奉務する神主です。  
何故、神主を志したかといえは、それは日本人(大和民族)が本来持つていなければならぬ最も基本的な「こころ」(感謝・礼節・寛容等)を宗教、特に神道の中に多く占めていることに気がついた

## 母校への想い

スチュワーズへの我があゆみ

(S61年卒) 山岸みちる

向丘を卒業して一枚のチケットが私の人生を大きく方向づけました。自分への甘えを一切たち切り、夢と不安を秘めて、単独渡豪しました。これからはすべて自分で判断し行動しなくてはならない。子供の頃から英語が大好きで、特に力を入れてきた私だったので、オーストラリアはかなりのまわりが強く初めは全く解らない程でした。しばしば自己嫌悪に陥りました。

文法などは基礎として役に立ったものの学校で習った英語もほとんど使えず会話発音などはすべて1からやり直し。辞書片手の毎日が始まった。それに加えて生活のスタイル、言葉の使い方、表現の

からです。

元来、日本人(大和民族)というものは、祖先を崇拜し、天地の恵に感謝し、自然と共存共栄して発展してきた民族です。

しかし昨今の政治の腐敗・経済の不況・教育の窮状等をみるにつけ、もう一度、日本人の「こころ」の原点に立ち返る事に目を向けなければならなくなってきた。時期が来ているのではないかと思うのです。

仕方が日本とは全く違つて、私はショックで自分をうまく表現する事が出来ず、何度も見失いそうでした。普段はおしやべりで、何事にも積極的な私でしたが総て消極的になり夢が少しずつ消えていく様でした。

暫く悩んだ後、人生はそんなに甘くない、まして留学なんて聞かえはいいけど成功させる為の留学は決死の努力が必要なのだと思ひ直しました。それからは無我夢中で仕事、生活のための英会話を勉強しました。この時が今までの私の人生の中で勉強に對して一番集中出来た時かも知れません。それは絶対に航空会社に就職したいという子供の頃からの目標と、よく手紙を書いてくれた向丘時代の友人・そして恩師の熊倉正一先生の支えが私を勇気づけてくれたことです。

科学万能・形而下唯物的発想を一刻も早く脱却しなければ日本の国體は、このまま行き詰まってしまうのではないのでしょうか？

国際化の時代が叫ばれ、これからはますます諸外国の日本に對する風当たりが強くなってくることは確実です。

そのような時代の趨勢の中で、日本人が世界新秩序に於ける日本の役割をしっかりと認識し、真の意味での国際人となる為に、国民

今ふりかえつて見て三年間の高校生活は、学校にはいつも活気があり個人を尊重する校風があり、毎日学校へ行く事が楽しみでした。そんなお陰でオーストラリア滞在中も日本人としてだけでなく一人の人間として自分の個性を引き出せたのではないかと思ひます。向丘を卒業して早くも七年、充実した生活に感謝の毎日です。(カンタス オーストラリア航空 客室乗務員)

### 母校を誇りに

(H元年卒) 林 秀則

向丘高校が廃校

そんな噂が流れたのは、私が平成元年に卒業した直後でした。確かに最近では、子供の数が減つていふ事や、向丘のようなマンモス校が廃校になるといふ事は信じられませんでした。今思うと各学年8クラスはかなり多いと感じます。第一、

一人一人が自覚を持ち、意識を改革し、真剣に對処していかなければならないと思ひます。

私が現在、師事させて頂いている宗教家の先生は、言葉が乱れば社会が乱れ、国が乱れると仰せになっていきます。

その御指導を賜るにつけ、日頃の行い、言葉使いなど身近に誰でも手軽にできるところから手始めとしてやっていくべきではないでしょうか？

全員の顔も覚えきれないし、たぶん3年間で一度も会っていない人がいるのではないかなと言つても過言ではない様な気がいたします。

半信半疑。そんな時に校舎改築案の一報。これがおかまも安全。よかつたよかつた！ ただ一つ心残りなのは、在学中の時に壁に書いた落書きや、壊したロッカーなどがなくなってしまうかと思ふと、淋しい気もします。しかしやはり何であつても「新しい」と言う事は、気分が良いものであつて、これから入学して来る学生達が向丘は良い学校だ！ と感じてくれれば卒業生として本望です。

私は今、向丘在学中の頃からほぼ毎月コンスタントに会つて居る友人が何人かあります。子供から大人への境目を過ぎた場だから、特に気が合うのでしょうか？

そんな大切な時期を過ごした学校だから、私は向丘高校を大切に思ひ、そして向丘卒業生としての誇りを大切に持つております。

久しぶり!! 2回目の同窓会

(S30年卒) 井上(中村)雅子

卒業して初めて私にとりまして第一回の同窓会に出席させて頂いたあと、住所も二回替り結婚、子育て、仕事、夫の両親の看病等々皆様通る道でしょうが無我夢中で過ごして居りました。

子供もそれぞれ成人してほっと一息自分の事を考えられる年令になり親友の協力もあって同窓会のお知らせも届き30年以上たつてから第二回目の出席となりました。

仕事をしながらもなつかしさ、嬉しさで頭の中は思い出で一杯になつていました。

待ちに待った当日友人とバスの中からキョロキョロしながらなつかしの校門前にとどろつきました。校門のあたり、校舎も高校時代の思い出をみつけるのに一苦労する程変わっていました。

受付を済ませ校庭を見た時少し広くなったような感じでしたがまったく変わっていない当時のままの校庭に感激し思い出がどつともどつてきました。

体育、運動会、集会、先生の顔、友人の顔等……

友人：ぜんぜん変わっていない人、学生時代とむすびつかない人、

ちよつと変わったかなと思う人：でも話をしているうちにすっかり

高校時代にかえっていました。会終了後もレストラン、なつかしのおそば屋さんで思い出話に花

がさきまだく語りつくせず、次回に「つづく」になりお名残りおしく帰途につきました。次回も楽しみにしています。同窓会は素晴らしいの実感でした。お世話して頂いた方に感謝します。

(S34年卒) 折本(増田)輝子

春の同窓会に34年ぶりに出席しました。懐かしい皆様に会え、本当に良かったと思います。お写真いただきました。毎年出られる方、又、私のように出るチャンスのない者にも里帰りするような気持ちです。たいへんでも、お役目、よろしく願います。

同窓会特集



総会、懇親会に集まって下さった方々 (ほぼ、年代順・卓毎記念撮り)

### 昭和37年卒業生同期会盛大に開催

幹事代表 F組 河原 正史

向丘高校を卒業して実に30年ぶり。A組からF組までの同期生が、平成4年4月29日文京区の弓町クラブに集い思い出と近況を語り合った。

卒業後初めての集まりとあつて各組の幹事は住所、電話番号等の追跡調査に大変苦労したがその成果は同期生の3分の1に当たる100名もの出席をみるに至った。クラス担任であった新山 浦井 水町 各先生に加えて石、元校長 橋本(一力) 木内各先生もお元気に会場にお見えになり30年間の空白を一気に取り戻すかの様に時の経つ



### 六年ぶりの初同期会

銀座4丁目レストラン若松で開催

(S1年卒)同期会 幹事代表 鶴田 進

10月17日PM16時30分。僕らは会場の前で開始時間を待っていた。その時の頭の中は不安と興奮で不思議な気持ちだった。出席者が減ったらどうしようなどと考え

るうちに、タバコの吸い殻はどんどん増えた。こういう時でも時間はきちんと進む。開始時間が近づいてきた。出席者もどんどんやってきました。もつともつとやってきた。みるみるうちに集場所にいっぱいになった。僕らの不安のほうはどんどん消え、代わりに笑顔が出てきた。これで無事に同期会を開始できるとおもしろい、やっとな安心できた。

PM7時。同期会を始めるのはとても簡単だった。隣を向けばすぐに会話がはずみ、会話がはずめばのども乾きお酒を飲む。そしてもつと打ち解けて会話がまたはずむ。その繰り返しが会場のボルテージは上がるいっぽうだった。そんなみんなを見わたすと髪形や服装はあの頃と違うが、しゃべり方、しぐさはあの頃とほとんど変わってはいなかった。でもあの頃よりは7年分ふけている。そのふけ方が大人っぽくてかっこよかった。子供の写真を見せてくれた人、会社の名刺をくれた人など考えるともう25歳になり、いろいろな所で活躍しているのがわかった。スーツも板につき、ハイヒールを素敵にはいて、少し大人っぽくなった顔で大笑いし、思い出を話し会場のグチをこぼし、ますます盛り上がりつつあった。こうなったら恐かった先生でさえこの場を生きるの難しさをいさぐさ笑っていた。まるで休み時間か文化祭、修学旅行の様だった。ここまで来た

らもう一次会だけでは治まらず2次会3次会そして朝までと続いた。そんなみんなの姿があつた。みんなの様でもよかった。

10月18日、朝。長い同期会が終わった。みんな仕事の忙しいあいまに100人近いみんなが出席してくれて幹事としてだけでなく、向丘高校の卒業生として非常にうれしかった。手伝ってくれた人達にはもちろん、返事をくれた人達にも最後に「ありがとう」といいたい。それではまた五年後に会いましょう。



# 一筆啓上お便り集

(一期生) 井上 早苗

梅の花も盛り、一雨毎に春が近づいてまいります。日頃、同窓会のことで大変お世話様でございます。四十年間の会員総合名簿等、

さぞかし物心両面ご苦労だったことと存じ有難く感謝しております。さて、私も齢六十を過ぎ、身辺整理をいたしておりますが、同封の新聞、文集等、多分、私以外のものには、不必要となることを思い、せつかく四十数年ももちつづけてきましたので、同窓会でお役に立てればと存じお送り申し上げます。

では、ご面倒ですが、よろしく願ひ申し上げます。

(一期生) 石川 和子

同窓会の御案内ありがとうございます。一期生は同じ日に毎年同期会(向丘さくら会)を開いておりますので出席出来ませんが、立派な運営をして下さっていることは本当に嬉しく感謝しております。

ご参考までに「さくら会だより」

(一期生の会却)同封いたします。皆様のご努力に心から声援を送り、又当日の御盛会をお祈り申し上げます。

(S26年卒) 菊池(落合)孝子

大変お世話様でございます。卒業以来、初めていただく会報に、びつくりするやら、嬉しいやらでした。卒業の年に秋の運動会の日、同期会がありました。雨で運動会は中止で、古い校舎の図書室の隣りの教室と家庭科室でガヤガヤとお喋りをして、後、集りもなく、長い年月が過ぎて仕舞いました。

名簿の事も友達に聞かましてそちらへお伺いして、廣済堂様依り早速送って戴きました。名簿の厚さに月日の重みを感じ又皆々様の御尽力に深く感謝申し上げます。

旧住所より回送されました会報で、芳沢先生の御計報のお知らせを拝見致し、感無量です。嘉手川先生が結婚のため、高三の三期に芳沢先生に食物の授業をみていただき、その時間のなかで、先生から、おひなまつりの歌(サト

ウハチロー作でない)を教えてください。ただき、三月十日の卒業式のあと上野精養軒での謝恩会で、又先生と大合唱をしました。娘が幼い頃から今でも、此の季節になると、〴〵ももの花にお白酒と口ずさんで居ります。又引越して、当時のサイン帳など出て来て、芳沢先生が書いて下さいましたお言葉にいろいろと思ひ出されます。

突然に取留もなく乱筆にて失礼申します。ますますの御発展をお祈り申します。

(S26年卒) 渡辺(加藤)信子

この度は名簿をお送りいただき本当に有り難うございました。私も転校生ですがそもそも合併されて出来た学校らしかったので私達迄のクラスはバラバラなのかも知れません。

旧職員名簿の中に恩師の名がないのは残念でした。私達の時代の校長先生は漢学者の宇野哲人校長、そして生徒会を日本の高校にひろめたと言われた土屋潤身校長。土屋校長には個人的にも大変お世話になった先生です。自由時間(その人の単位のとおり方)によってつくられる時間)に教室のない人に校長室を提供して下さり自由に使わせて頂きました。そんな

こんなことが次から次へと浮んできます。声も飛び出してくるように聞えてきます。

名簿とアルバムを合せて観ていると、本当に昨日のこの様に思われてきます。懐かしい時代を送っていただきからお礼申し上げます。

今後共よろしく願ひいたします。

(S50年卒) 大西(田口)絹子

同窓会報ありがとうございます。結婚して氏名もかわり実家も転居してよくこの住所がわかったなあと感じたところ友人が教えていたと判明。

なつかしく読ませていただきました。私は昭和五〇年三月向丘を卒業、同年四月東京水産大学へ入学その後団体職員をし大学の一回先輩の主人と結婚し、現在はパートのおばさんをしています。実は、名簿に残部があればわけていただきたくペンをとった次第です。料金等お知らせいただければ幸いです。



向丘高校同窓会総会、懇親会

◆総会次第

- 一、開会のことば
- 二、校歌斉唱
- 三、会長あいさつ
- 四、名誉会長あいさつ
- 五、議長選出
- 六、議事

- ①会務報告 平成三年度
- ②決算報告 平成三年度
- ③監査報告 平成三年度
- ④事業計画案 平成四年度
- ⑤予算案 平成四年度
- ⑥役員改選について
- ⑦その他

◆懇親会次第

- 一、開会のことば
- 二、会長のあいさつ
- 三、来賓代表のあいさつ
- 四、乾 盃
- 五、懇談(スピーチ等)
- 六、アトラクション  
ギターアンサンブル部演奏  
ピアノ演奏  
ピアノ伴奏
- 七、抽選会
- 八、閉会のことば

会務報告

◆役員会(含幹事会)

- H 3、4、11(木) 総会準備の打合せ
- H 3、5、27(月) 総会写真整理送付反省会
- H 3、10、7(月) やよい2号編集会議を中心顔合せ会

◆総会

H 3、4、29(月) 会員84名先生(客員)12名合計96名新入会員の参加が多かった。賑やかな歓迎会となった。1600通の案内状を発送の結果である。周知徹底が弱い様です。

4、4、29の総会に向けては、朝日、読売、毎日、東京新聞の同窓会欄への掲出、やよい2号にて広報活動を行った。出席者数のヨミが難かしい。

◆研究活動 4、1、28発行

①広報誌やよい2号の発行と全会員への発送  
初体験であります。住所が判っていない方々へは全員発送を試みました。総数11、389通¥720、000程の送料が必要であった。

転居先不明やら宛名不完全(含旧住所)等で2、500通程が戻ってしまつた。総発行数13、500部(都合10回会合あり)

②第2回ホームカミング大会の開催  
同窓会意識を多くの会員に広め、母校愛の高揚に努めるべく無作為的に250名にお声掛けを行った結果、客員・顧問10名、会員40名の参加者があり、今昔の語り合いを行った(於四階会議室)

◆渉外関係(都合7回出席)  
H 3、4、9(火) 母校入学式小川

川会長が参列した。  
H 3、6、29(土) 母校前校長新城昇先生を送る会に会長が出席した(於東京ガーデンパレス)

H 3、9、23(月) 母校向陵祭に会長が訪問参観した。  
H 3、10、26 全国高校同窓会協議会総会に三田副会長・山本書記が出席した。  
(於明治記念館)

H 4、1、19(日) 母校PTA研修会・新年会が奥多摩・吉川英治記念館、川合玉堂の美術館、小澤酒造見学をし、ままことやにて会食というコースで開催され会長が参加した。  
H 4、3、10(火) 母校卒業式に会長が列席し祝辞を述べた。  
H 4、3、22(月) 母校ギターアンサンブル部定期演奏会に岩崎書記が出席した。  
(於、南大塚ホール)

◆振興助成(都合2回あり)

H 3、6、10(月) 第八期(S31卒)拡大クラス会が開かれ資料者簿、報告又を寄稿されたので第1号の対象とした。於、池袋海鮮問屋

H 3、11、7(木) 第八期生川端(旧三橋)春生氏、都立大泉学園高校、校長就任につき祝う会が同期生有志で催され、資料等寄稿されたので第2号の対象とした。於田端志ま家

事業計画

◆広報誌の発行と発送

4年1月末日をもってやよい2号誌を発送することができました。校正ミスの多かつたこと

を反省しております。

多数の皆様のご寄稿にたよることが必致であります。ご協力を頂き更に充実した会報を目指して同時期に発行致したいと考えております  
会員総数4年3月卒業生(第44期生)までで一三、七八六名となりました。

◆ホームカミング(第3回)開催

同窓会意識をより多くの方々に広め、母校愛の高揚に努めるべく毎年2月第3土曜日午後3時から母校にて開催することを定着化して行きたい。

◆同期会、同級会への助成

会員各位と同窓会本部とのつながりと確かなものにするために、各会開催に先着順で通信費補助を行うものとする。担当幹事は、会の呼び掛け者名簿と、当日出席者名、当日の報告文を400字程度にまとめ、様子の解る写真を一葉添えて会長、又は学校気付事務局までお届け下さい。

(例)呼びかけ人数100人まで  
1人当 ¥150円  
呼びかけ人数100人以上  
1人当 ¥100円を目安とする。

◆名簿確立への努力

創立50周年にはより充実した記念名簿が発行できる様毎年の卒業者のみ新入力と、日常送られて来る異動整理を続ける。不明者の住所判明努力、連絡、これも、各位のご返信等によるご協力を願うものです。

